

## 写真図版



1 遺跡遠景（南上空から）



2 遺跡遠景（北上空から）



3 遺跡近景（西上空から）



4 遺跡近景（北上空から）



4 遺跡近景（北上空から）



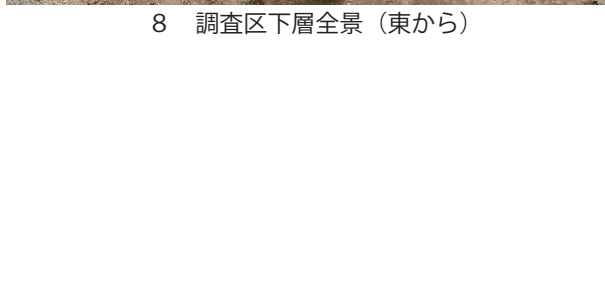
5 調査区上層全景（西から）



6 調査区上層全景（東から）



7 調査区下層全景（西から）



8 調査区下層全景（東から）

图版 2



1 第15号住居跡(1)



5 第16号住居跡



2 第15号住居跡(2)



6 第16号住居跡 炉跡



3 第15号住居跡 炉跡



7 第6号土壇



4 第15号住居跡遺物出土状況



8 第7・8号土壇



1 第10号土坑



5 第10号住居跡



2 第11号土坑



6 第10号住居跡遺物出土状況(1)



3 第12号土坑



7 第10号住居跡遺物出土状況(2)



4 第15号土坑



8 第10号住居跡遺物出土状況(3)

图版 4



1 第10号住居跡遺物出土状況（4）



5 第14号住居跡



2 第10号住居跡遺物出土状況（5）



6 第14号住居跡 炉跡



3 第10号住居跡遺物出土状況（6）



7 第14号住居跡遺物出土状況



4 第13号住居跡 炉跡



8 第3号土壇



1 第1号住居跡



5 第4号住居跡



2 第2号住居跡



6 第4号住居跡遺物出土状況



3 第2号住居跡 カマド



7 第5号住居跡



4 第2号住居跡遺物出土状況



8 第5号住居跡 カマド

図版 6



1 第6号住居跡



5 第8号住居跡



2 第6号住居跡遺物出土状況



6 第9号住居跡



3 第6号住居跡円面硯出土状況



7 第9号住居跡 カマド



4 第7号住居跡



8 第11号住居跡



1 第11号住居跡遺物出土状況



5 第1号井戸跡



2 第12号住居跡



6 第2号井戸跡



3 第2号溝跡



7 第3号井戸跡 (1)



4 第1・2・3号井戸跡



8 第3号井戸跡 (2)

図版 8



1 第3号井戸跡 (3)



5 第4号井戸跡 (4)



2 第4号井戸跡 (1)



6 第1号火葬跡



3 第4号井戸跡 (2)



7 第1号溝跡



4 第4号井戸跡 (3)



8 ピット群 (D4・E3グリッド)



1 第15号住居跡（第9図1～18）



2 第15号住居跡（第9図19～30・32・33）

図版 10



1 第4・14・15号土壌（第12図1～17）



2 グリッド出土遺物（第13図8～21）



1 グリッド出土遺物 (第 13 図 1)



4 第 10 号住居跡 (第 15 図 3)



2 第 10 号住居跡 (第 15 図 1)



5 第 10 号住居跡 (第 15 図 6)



3 第 10 号住居跡 (第 15 図 2)



6 第 14 号住居跡 (第 18 図 1)

図版 12



1 第14号住居跡（第18図2～5）



5 グリッド出土遺物（第21図1）



2 第3号土壙（第20図1）



6 第10号住居跡  
（第15図1）



9 第3号土壙  
（第20図1）



3 第3号土壙（第20図2・3・5）



7 第10号住居跡  
（第15図4）



10 第3号土壙  
（第20図2）



4 第3号土壙（第20図4）



8 第14号住居跡  
（第18図1）



11 第3号土壙  
（第20図3）



1 第2号住居跡 (第25図1)



6 第2号住居跡 (第25図7)



2 第2号住居跡 (第25図2)



7 第2号住居跡 (第25図8)



3 第2号住居跡 (第25図4)



8 第2号住居跡 墨書「本」 (第25図13)



4 第2号住居跡 (第25図5)



9 第2号住居跡 (第25図26)



5 第2号住居跡 (第25図6)



10 第3号住居跡 (第28図9)

图版 14



1 第3号住居跡（第28图10）



6 第5号住居跡（第32图2）



2 第3号住居跡（第28图11）



7 第5号住居跡（第32图3）



3 第3号住居跡（第28图12）



8 第5号住居跡（第32图4）



4 第3号住居跡（第28图22）



9 第5号住居跡（第32图7）



5 第5号住居跡（第32图1）



10 第5号住居跡（第32图17）



1 第6号住居跡 (第34図7)



5 第7号住居跡 (第36図1)



2 第6号住居跡 (第34図9)



6 第7号住居跡 (第36図7)



3 第6号住居跡 (第34図12)



7 第9号住居跡 (第39図1)



4 第6号住居跡 円面碗 (第34図22)



8 第9号住居跡 (第39図4)



9 第11号住居跡 (第41図1)

図版 16



1 第11号住居跡（第41図6）



6 第12号住居跡（第43図6）



2 第11号住居跡（第41図10）



7 第12号住居跡 ヘラ記号（第43図8）



3 第12号住居跡（第43図3）



4 第12号住居跡（第43図4）



8 第12号住居跡 ヘラ記号「×」（第43図13）



5 第12号住居跡（第43図5）



1 第12号住居跡(第43図7)



6 第2号溝跡(第45図6)



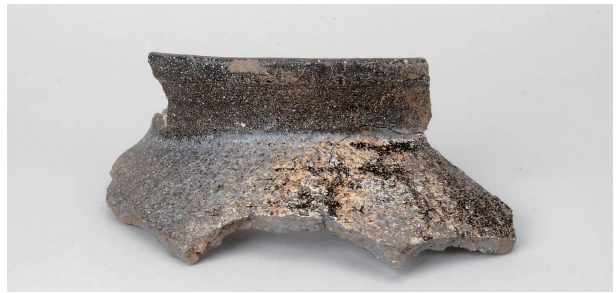
2 第12号住居跡(第43図17)



7 第2号溝跡(第45図7)



3 第12号住居跡(第43図19)



8 グリッド出土遺物(第47図5)



4 第12号住居跡(第43図24)



9 第3号井戸跡(第49図4)



5 第2号溝跡(第45図1)



10 銭貨(第59図1~3)

## 図版 18

### 鉄製品

- 1 第1号住居跡 (第23図19)
- 2 第2号住居跡 (第26図43)
- 3 第2号住居跡 (第26図44)
- 4 第2号住居跡 (第26図45)
- 5 第4号住居跡 (第30図21)
- 6 第4号住居跡 (第30図22)
- 7 第6号住居跡 (第34図25)
- 8 第7号住居跡 (第36図10)
- 9 第7号住居跡 (第36図11)
- 10 第11号住居跡 (第41図14)
- 11 第12号住居跡 (第43図33)



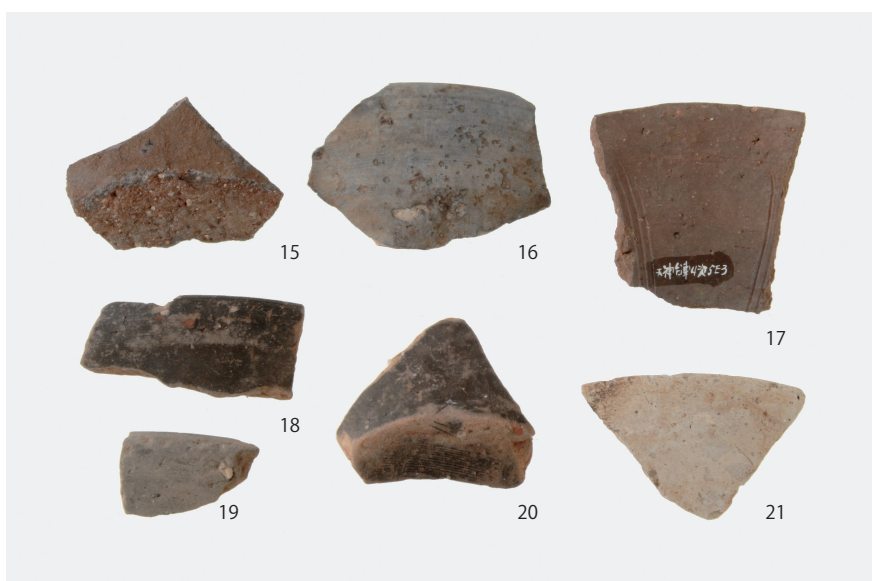
### 青磁碗

- 12 第2号井戸跡 (第49図3)
- 13 第1号溝跡 (第55図1)
- 14 第1号土壌 (第57図1)



### 中世陶器・瓦質土器

- 15 第1号井戸跡 (第49図1)
- 16 第1号井戸跡 (第49図2)
- 17 第3号井戸跡 (第49図5)
- 18 第3号井戸跡 (第49図6)
- 19 第3号井戸跡 (第49図7)
- 20 第3号井戸跡 (第49図8)
- 21 第4号井戸跡 (第49図10)





1 第4号井戸跡  
(第51図1)



2 第4号井戸跡  
(第51図2)



3 第4号井戸跡  
(第51図3)



4 第4号井戸跡  
(第51図4)



5 第4号井戸跡 (第52図5)



6 第4号井戸跡 (第52図6)



7 第4号井戸跡 (第52図7)



8 第4号井戸跡 (第52図8)



9 第4号井戸跡  
(第51図1)



10 第4号井戸跡  
(第52図5)

图版 20



1 第4号井戸跡 (第53図9)



2 第4号井戸跡 (第53図10)



3 第4号井戸跡 (第53図11)



4 第4号井戸跡 (第53図12)



5 第4号井戸跡 (第53図13)



6 第4号井戸跡 (第53図14)



7 第4号井戸跡 (第53図15)



8 第4号井戸跡 (第53図16)



9 第4号井戸跡 (第53図17)



10 第4号井戸跡 (第53図18)

# 報告書抄録

ふりがな	てんじんだいひがしいせき							
書名	天神台東遺跡							
副書名	越辺川河川改修工事事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第404集							
編著者名	大谷 徹							
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1 TEL0493-39-3955							
発行年月日	西暦2013（平成25）年3月25日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 番号		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
てんじんだいひがしいせき 天神台東遺跡 (第4次)	さいたまけん ひ き ぐんほと 埼玉県比企郡鳩 やま まち おお あか ぬま 山町大字赤沼 ばん ち ほか 45番地1他	11348	078	35°58′07″	139°20′48″	20091101 ～ 20100217	1,910	河川改修
所収遺跡	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
天神台東遺跡 (第4次)	集落跡	縄文時代		竪穴住居跡 2軒 土壇 11基 ピット 4基	縄文土器、石器		前期の大型住居跡	
		弥生時代		竪穴住居跡 3軒 土壇 1基	弥生土器		後期初頭の集落跡	
		奈良・平安時代		竪穴住居跡 11軒 溝跡 1条 土壇 2基	土師器、須恵器 円面硯、鉄製品			
		中・近世		井戸跡 4基 火葬跡 1基 溝跡 4条 土壇 1基 ピット 117基	陶磁器、瓦質土器 木製品、銭貨		石組や木組を良好に残す井戸跡	
要 約								
<p>天神台東遺跡は、越辺川沿いに形成された河岸段丘上に立地する縄文時代から中世の複合遺跡である。今回の調査では、越辺川の度重なる氾濫によって縄文時代の遺構が1mほどの土砂に完全に埋もれた後、弥生時代、奈良・平安時代、中世の集落跡が営まれたことが明らかになった。</p> <p>縄文時代では、2度にわたる建て替えにより、最終的に大きさが10mを超える前期（黒浜式期）の大型住居跡が発見された。弥生時代では、丘陵部周辺に点在する後期の小規模集落の様相が明らかにされ、櫛描波状文や簾状文を特徴とする岩鼻式土器古段階の良好な資料が出土した。</p> <p>奈良・平安時代では、南比企丘陵に展開する窯業生産と密接な関連をもった古代集落の実態が判明した。住居跡からは南比企産の須恵器や円面硯などが出土し、8世紀中頃から9世紀後半にわたって継続的に集落が形成されていた。さらに、中世では遺跡の西側で、越辺川を渡河する鎌倉街道上道が南北に走ることから、陸の道と川の道の交わる交通の要衝として、川沿いに展開する中世集落の一端が窺われた。4基発見された井戸跡には、石組や木組の施設が良く残り、当時の井戸の構造を具体的に知ることができる。中でも、石組の井戸は堅固に石を積み上げ、底には水溜めとして曲物が置かれ、約700年たった今でも当時のままの姿を見せていた。</p>								

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第404集

## 天神台東遺跡

越辺川河川改修工事事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

平成25年3月18日 印刷

平成25年3月25日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 熊谷市船木台4丁目4番地1

電話 0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／朝日印刷工業株式会社